

# 2020年度春学期遠隔授業評価アンケートに基づく教学改善について

## 1. 実施概要

### (1) 実施目的

教員、学生双方にとって初となる全学的な遠隔授業を実施する中、学生の遠隔授業に関する実感や感想、意見等を収集し、今後の遠隔授業の更なる改善を検討する一助とする。

### (2) 実施期間

2020年6月15日（月）～21日（日） ※授業6週目

### (3) 実施対象

全学生

### (4) 実施方法

- ・ユニバーサルパスポートでのWEB調査（学生のPCやスマートフォンから回答）。

## 2. アンケート設問項目

### ① 遠隔授業を受講する際に、利用できる機器はどれですか？（複数回答可）

- ・デスクトップPC、ノートPC、タブレット、スマートフォン、その他（ ）

### ② 遠隔授業を受講する際に、主に利用している機器はどれですか？

- ・デスクトップPC、ノートPC、タブレット、スマートフォン、その他（ ）

### ③ 遠隔授業を受講する際の通信環境についてお答えください。

- ・自宅や下宿等で、光ファイバー・ケーブルテレビなど固定の高速回線を契約している。
- ・モバイルWi-Fi ルータ（通信量の制限なし）を利用している。
- ・モバイルWi-Fi ルータ（通信量の制限あり）を利用している。
- ・スマートフォン等のデータ通信（30GB以上）を利用している。
- ・スマートフォン等のデータ通信（30GB未満）を利用している。

### ④ 1週間の総学修時間（遠隔授業の受講時間、予習復習時間、資格学修等を含む）は平均して何時間ぐらいですか？

- ・1時間未満
- ・1時間～5時間
- ・5時間～10時間
- ・10時間～20時間
- ・20時間～30時間
- ・30時間～40時間
- ・40時間以上

### ⑤ 遠隔授業の受講（教材の学修や課題の作成等）に取り組むのは、どのタイミングですか？

- ・配信日（公開日）1日以内
- ・配信後2～3日後ぐらい
- ・配信後4～5日後ぐらい
- ・公開終了日直前ぐらい

⑥ 遠隔授業で良かったと思うことについて、選択してください。(複数回答可)

- ・授業の教材がわかりやすい
- ・復習が何度もできる
- ・自宅で学修できる
- ・自分のペースで学修できる
- ・教室より集中できる
- ・担当教員に質問がしやすい
- ・コンピュータやオンラインシステムに関する知識やスキルが高まる
- ・その他 ( )

⑦ 遠隔授業でストレスを感じていることについて、選択してください。(複数回答可)

- ・授業の教材がわかりにくい
- ・ZOOM等の同時双方向型の授業の設定や進行がわかりにくい
- ・課題が多い
- ・レポート課題に対する添削指導や評価、講評等のフィードバックがない
- ・小テストに対する評価、解説等のフィードバックがない
- ・ディスカッションの投稿に対する返信がない
- ・担当教員に質問がしにくい
- ・担当教員から質問に対する回答がすぐに来ない
- ・学修のペースがつかみにくい
- ・集中力が続かない
- ・コンピュータの操作に慣れていない
- ・ネット環境が十分ではない
- ・ラーニングポータルやOffice365の使い方がわからない
- ・その他 ( )

⑧ (新入生を除く2年生以上のみ回答してください) これまでの対面授業(大学の授業)と比較して、遠隔授業は教育の質が落ちたと感じますか?

- ・落ちたと思う
- ・やや落ちたと思う
- ・どちらともいえない
- ・落ちたと思わない
- ・上がったと思う

⑨ 遠隔授業のもとの大学生活について、当てはまるものを選択してください。(複数回答可)

- ・遠隔授業にやる気を持ってない
- ・卒業後にやりたいことが見つけられない
- ・希望の就職先や進学先へ行けるか不安だ
- ・学内の友人関係や充実した人間関係を築けない

⑩ これまで遠隔授業を受講してみて、全体として授業内容はよく理解できたと思いますか。

- ・理解できた
- ・やや理解できた
- ・どちらともいえない
- ・あまり理解できていない
- ・理解できていない

⑪ これまで遠隔授業を受講してみて、全体としての評価を5段階でしてください。

- ・良い ← 5、4、3、2、1 → 良くない

⑫ 遠隔授業全般について、改善してほしいと思うことがあれば、書いてください。(自由記述)

### 3. アンケート結果に基づく教学改善について

- ①最もストレスを感じている項目のトップとして「課題が多い」ことが挙がっており、自由記述欄でも課題の量の改善を求める声が多かったことから、レポート課題の分量の抑制し、理解度把握のための小テストやアンケートを積極的に活用するという改善を行った。
- ②教材がわかりにくさについてもストレスを感じている学生が多かったことから、レジюмеだけの教材や穴埋めだけの教材ではなく、読んでわかる解説の資料を付ける、動画を付けるなど学生が一人で学修できる教材の作成を推進した。
- ③小テストやレポート課題に対するフィードバックを求める要望があったため、小テストの解答の公表やレポート課題に対する添削指導、全体講評を行うよう改善を図った。
- ④授業や課題の内容に関する質問に回答がない、または回答が遅いという意見があり、学生の学修意欲の低下につながる懸念があったため、質問に対して可能な限り即日応答を行い、難しい場合は質問を受け付けた旨の応答を行うよう改善を図った。

以 上